



週刊はばたき

2021年
6月4日
第7号

やさしく つよく あたらしく

佐渡市立新穂中学校 電話：0259-22-2067 メール：niibo-js@sado.ed.jp

市内総体結果

野球：優勝(下越へ)

テニス

団体：男子2位(下越へ) 女子3位(下越へ)

個人：男子2位(下越へ)

3位(下越へ)

女子ベスト8(下越へ)

バスケ：3位(下越へ)

バレー：惜敗(金井中と対戦)

【スマイルプラスには早速労い等のメッセージが】



先生方はじめ御指導くださった皆様、本当にありがとうございました。そして、選手の皆さん、応援の皆さん、学校で活動した皆さん、お疲れ様でした。

勝敗の経験を積み重ねることは、人の成長に欠かせないものだそうです。トランプや相撲で親や姉妹に負け、泣いて悔しがり、ルールを無視してでも勝とうとしたり、勝つまで勝負を続けようとする幼子を見たことはありませんか？ 最後には、年長者がわざと負けてやり、ようやく満足ということもよくあります。そんな幼子も、年齢とともに自分を客観的に見ることができるようになってくるそうです。今回の大会も、勝敗の一喜一憂で終わらせず今後に活かしていきたいものです。

上位大会へ進んだチーム・生徒に更に心がけてほしいこと(参考：野球部心得)

- 佐渡市中学校の代表であるという自覚→敗れて出られない他校生徒もいる
- 感謝→佐渡市、新穂学校後援会など多くの方々が支えている
参加と運営のために、莫大な時間と労力をかけて準備している方々がいる
- 感染対策→島外での大会である。感染状況は未だに予断を許されない状況にある
- 心・技・体→学習・生活・心に更に磨きをかける

「頑張らなくていいよ、そのままでいいよ」はどんな人にかける言葉か？

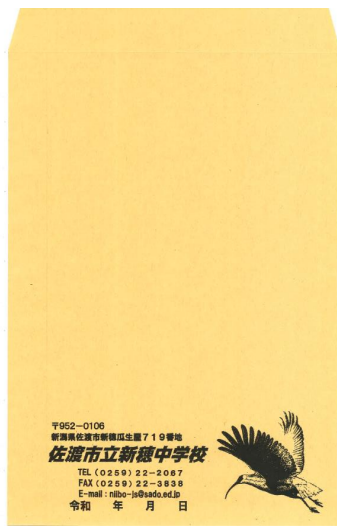
定期テスト期間に入りました。先週は計画を立てました。今は実行期間です。生活リズムチェック週間も始まります。学習の土台は生活です。学習も生活も「頑張り」が必要です。

ある本にこんなことが書いてありました。「頑張らなくていいよ、もう我慢しなくていいよ、そのままでいいよ」というのは、十分に我慢して頑張ってきた人や頑張りすぎて疲れたような人へかける労いの言葉です。まだ頑張っていない人への言葉かけではありません。何らかの形で頑張らないと、この社会では生きていけないのは事実です。頑張らないということは、今やるべきことを先延ばしにしているだけです…。」

突き放したような、厳しいような、耳の痛いような言葉ですが、「ウーン、やっぱりそうだよな」と思ってしまう。「いつやるの？ 今でしょ！」という流行語もありました。

さて、今の自分はどうでしょう？ 頑張りすぎ？ 無理なく頑張っている？ 頑張り先延ばしにしている？ また、頑張ろうという気持ちはあるけれども方法が分からないという人がいたら、先生方に相談してみましよう。

新穂中学校封筒のイラスト募集



学校の封筒(上)を間もなく使い切ってしまう。これを機にイラストの刷新を考えています。アイデアを皆さんから募集します。「新穂中にはセンスにあふれ、レベルの高い絵を描く人がたくさんいるなあ」と、体育祭のパネル、廊下に掲示されている絵画、生徒会誌、掲示物などを見るたびに感心していました。

興味がある人は、下の欄に描いて担任の先生へ届けてください。「これぞ新穂中！これぞ新穂！」というものをお願いします。トキ以外でもかまいません。著作権に気を付けて！

年 氏名

締切：6月30日(水) 届け先：担任の先生